恵みと真理のニュース



2018 年 11 月の四次 恵みと真理教会 韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



「証]

私を助けてくださる主、穏やかな 表情で私を見つめながら私に新し い力を下さる主を声高く賛美しま す

私は信仰が篤実な母をついて幼いごろから熱心に教会に通いました。ソウルで一番大きい長老教会を通っていた頃、高校の時開拓教会に行って子供に聖書を教える奉仕も頑張りました。家庭の経済が大変で大学は進学できなかったったです。友達のほとんどは大学部で仕えていましたが、私は一般の青年部に入って仕えようとしたら心が楽しくなかったです。それでも、聖歌隊で奉仕しながら賛美する喜びも充満になり相変わらず神様を信じる信仰生活をしました。

1976年アンヤンに引っ越しました。続けてソウルにある教会に行くのはあまりにも遠くて他の教会に行くのも迷っていてしばらく教会に行かなかったです。職場で勤めているときに結婚しました。田舎にある婚家は儒教思想が酷い家でした。さらにお正月になると山に登って偶像を崇拝しました。お正月やお盆の日に家族が集まると私の実家はイエス様を信じる家庭であること知っているのに私を向かって言っているように教会を非難する話をしました。その度ことに旦那とよく夫婦けんかをしました。

旦那の少ない給料で私たちが大変に生活しているのを見た全羅北道益山で事業している父は自分がやっている事業を習うのを勧めました。1981年に益山に行きましたが、旦那が仕事を習う前、父が過労で倒れて肝臓炎を患って1年もたならずにして49歳の若い歳で亡くなりました。父と同業した方から何の保証も受けなくて家族に13坪の賃貸しマンションだけ残っていました。そこで生活しながら5年間、家族が皆が痛くて生活が貧しかったです。

それで私は家で内職をしながら子供たちを連れて病院に行く のが日常生活になりました。そんな私に姑はお札を作ってく れたり偶像がある変なところに連れて行きました。私は心が 辛くて不変でした。心と体が痛い度ことに教会に行って神様 に礼拝する生活をしようと思いますが、家庭環境と信仰が弱 くて勇気が出ませんでした。

そうする1986年アンヤンのビサン同で再び戻ってきました。周りに伝道する人々が多かったです。特に恵みと真理教会に通う区域長が休まずに私の家に来て熱誠的に伝道しました。私に多くの関心をもって下さり、私と違う性格だったの

で私の心が引かれて教会に行きたかったですが、旦那のせいでなかなか決心できませんでした。旦那は私を監視しているような態度で決まった時間に退勤して週末も一日ずっと家にいました。ところが、恵と真理教会には水曜日の午前の礼拝が3回ありました。

旦那がいない水曜日の朝に区域長がヨハネの啓示録の講解説 教なのでぜひ一緒に聞かないといけないと言い私を迎えに来 ました。党会長の尊い説教を聴かせようとする心が感じられ てまた感動を受けて断ることが出来なく、久しぶりに教会に 行って礼拝を捧げ説教を聞きました。その時から水曜礼拝は 熱心に参席しました。はじめは以前通っていた教会と教派が 違って礼拝の形式が違って初めはなれなかったですが、うま ずたゆまず礼拝に参席しながら御言葉に大きく恵みを受けて 聖霊で充満になりました。

偶像崇拝をしている舅と姑を伝道するためまず、認められ、愛を受けなければならないと思いました。大学卒業を前もって就職を準備した末子の義弟を家に呼びました。その後、狭い家で義弟と7年間を一緒に住みながら結婚させて甥も育てました。生活が辛くても神様の栄光を覆わないため、聖徒の手本を見せるため大変な素振りを見せたり、不平を言ったりしませんでした。そして、婚家の家族から多くの愛を受けるようになりました。神様がまず旦那の心を開いて主を受け入れました。異端に属した人が煩わしくないように旦那が恵と真理教会の教会の札を家の扉に貼る時は感激しました。もうすぐ婚家の福音化が成し遂げることを信じて希望の中で祈っています。

私が我が教会で所属して信仰生活をする間、神様がもっと良い家を買うように何度も奇跡の助けを与えてくださいました。多くの人々がマンションを分譲を受けるため 請約貯金をもってあちこち書類を提出したのも1990年度の事です。私たちは余裕がなくて請約貯金に加入しなかったので分譲を受ける資格がなかったです。ところが、祈りの中で神様が新しいマンションに対する夢を持つようにしてくださり、3年後23坪のマンションに入居しました。

義弟の新婚の家を調べる中で教会の男性区域長を通して分譲権が取り消したマンションを紹介されて、義弟の結婚が白紙化されたため、私たちにその機会が与えられました。かろうじて稼いている私達には実は不可能な事ですが、神様は大胆な勇気を下さり知恵も下さっていろんな方法を通して必要とする費用をそのつど設けるようにしてくださいました。そして、練炭まどがある家から脱し、夢に描いた新しいマンションに入居しました。その家に住みながら神様の恵みに感謝して首区域長の職分を受けて熱心に伝道して奉仕しているとき、不動産の事業をするきれいな執事が私たちの区域の新しい家族になりました。その執事が手伝って神様が助けてくださっ

て多くない金で32坪のマンションを新しく購入することが 出来ました。

昨年は貸し切り家で住んでいた長男の夫婦が孫の小学校の入 学を控えて家を賄いながら契約期間が残っていて保証金を返 してもらえずに残金を返さなければならないのでとても心配 しました。大きい金をどのように調達する方法がなくてまず、 私の家を売って貸してあげることにして家を不動産に売り出 しました。感謝することは考えたより早く家を買いたいとい う人が現れて、その方が私たちの事情をしていて先に大きい 金額を払ってくれて息子の家の残金をいっきに払えることが 出来ました。買収者としてそのように良い方に出会うのも神 様の恵みでした。

一つの問題は息子が住んでいた家が早く売買が出来なくて二つの家で生活しなければならない状況でした。私たちが息子の家で代わりに住んだほうがいいのか、そこで住む間、家が売買されたら 私たちはどうすればよいのか。様々な考えで複雑でした。区域と教区で聖徒達が祈ってくださいました。するといろいろな人がお家に入ってみて気に入らないとしてすぐ帰った家をある老人夫婦が来られて気に入ってくれて私たちが希望する日付に合わせた引っ越してきました。それだけではなく私の家も売買が完了され、金融金を全て返して残ったお金で私たちの教会で歩いて行ける良い場所で家を買うことが出来ました。

引っ越しをすることが自分の心でできることではなくて常に 祈りと神様の助けを求めるのが切に悟りました。。"イエス は、「この種のものは、祈りによらなければ決して追い出す ことはできないのだ」と言われた。"(マルコによる福音書 9:29)"人間の心は自分の道を計画する。主が一歩一歩 を備えてくださる。"(箴言16:9)御言葉の意味を深く 悟って神様の恵みに感謝ささげました。

旦那を手伝うため私も熱心に仕事をする間、神様は私が礼拝と教会の奉仕も忠実にすることを探して仕事をするように摂理してくださいました。心と体も健康にしてくださいました。何よりも恵みと真理教会で信仰が育て主の事に献身する神霊なやりがいを享受するようにしてくださった神様に感謝ささげます。神様は私の性格も肯定的な性格で変化させてくださいました。

いつも隣で祈ってくださり、助けてくださる教区長と区域長と愛が溢れる聖徒に感謝します。信仰と性品と力を尽くして神様を賛美し、教会を仕えるベダニ聖歌隊の隊員にも感謝ささげます。相変わらず主を愛し長く健康に主の事をするのを願い祈りながら、神様が与えてくださった恵みに感謝し賛美します。



[信仰コラム]

イエス様が尋ねる三つの質問

"彼らが食事をすませると、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこの 人たちが愛する以上に、わたしを愛するか」..."(ヨハネによる福音書21:15)

聖子神様でおられるイエス様の質問とその質問に対する正しい答えに関して調べてみます。人は例外なくイエス様の質問に答えるべきです。

第一は、"あなたはわたしを誰と言うか"という質問です。この質問は弟子達に限定されたのではなく全ての人に答えを要求する質問です。この質問に関連して人々を三部類に区分することができます。第一の部類は、このような質問があることを知らない人々です。第二の部類は、この質問について否定的な反応を見せたり、誤った答えをする人々です。第三の部類は、聖書に啓示された正しい知識をもって信仰で答える人々です。第一と第二の部類の人々は救いを得られません。神様の選びを受けられなかった人々です。

イエス様の質問に対してペテロが答えました。 "あなたこそ、生ける神の子キリストです"簡単であるが完全な信仰告白です。 'キリスト'という言葉はヘブライ語でメジヤですが'油で注がれた者'という意味で神様が委ねたことのため神様の送りを受けた者を指します。 '生ける神様の子'という言

葉はイエス様が神性を持たれたことを意味します。イエス様に向いて"あなたこそ,生ける神の子キリストです"という告白をする人は永遠で誠な福を得た者です。このような知識と信仰は父なる神様が与えてくださることです。そして、この信仰告白の上に立てた教会を陰部の権勢が勝つことができません。このような信仰告白をする信者をサタンの勢力が勝つことができません。

第二は、"わたしにそれができると信じるか"という質問です。

二人の盲人が道を行かれるイエス様について来ながら"ダビデの子よ、わたしたちをあわれんで下さい"と叫びました。イエス様が彼らに"わたしにそれができると信じるか"と質問なさいました。彼らが"主よ、信じます"と答えるとイエス様が彼らの目を触りながら"あなたがたの信仰どおり、あなたがたの身になるように"と言われると彼らの目が明るくなりました。イエス様は彼に進んでくる人の外貌を見ず、心にある信仰を見られました。その信仰を見られて懇切なお祈りと願いに応答なさいました。イエス様は今も私達に向いて"わたしにそれができると信じるか"と尋ねられます。

第三は、"わたしを愛するか"という質問です。

復活なさったイエス様がガリラヤ海の弟子達に訪れ、ペテロに"ヨハネの子シモンよ、あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか"と質問なさいました。イエス様が三回目に"わたしを愛するか"と尋ねるとペテロが心を痛めて話しました。"主よ、そうです。わたしがあなたを愛するこ

とは、あなたがご存じです"ペテロの告白を聞かれたイエス様はペテロに主の羊を養う重大な任務を委ねるという御言葉を三回言われました。

イエス様を誠に愛する聖徒にはその証拠が従います。一、自 分の意志が惰弱で主の心を痛めることがあってもイエス様か ら離れません。そして悔い改めます。二、主の思いと要求を 黙々と受け入れて従います。イエス様がペテロに"あなたが 若かった時には、自分で帶をしめて、思いのままに 歩きまわ っていた。しかし年をとってからは、自分の手をのばすこと になろう。そして、ほかの人があなたに帶を結びつけ、行き たくない所へ連れて行くであろう"と言われました。ペテロ がこれからはイエス様の思いを順々に受け入れました。三、 主だけを見て従います。ペテロがヨハネを見て"主よ、この 人はどうなのですか"と尋ねるとイエス様が"たとい、わた しの來る時まで彼が生き殘っていることを、わたしが望んだ としても、あなたにはなんの係わりがあるか。あなたは、わ たしに從ってきなさい"と言われました。他の人と不必要な 比較をしてはならないという御言葉です。そしていつも主と 自分との関係を考えることを言われた御言葉です。私達は他 の人との比較でくる成功と成就感を得ようとせず、主に向い た誠実な生活からくる成功と成就感を得るようにすべきです。 良くやったと称賛なさる主の認定を受けようとする目標を持 って励む人が知恵を持って生きる人です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム '緑の牧場、清い川'本の語り中」

恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

今日は本文の句節を順番に見ながら、イエス・ キリストを信じる人は、特別な旅人という事実 を集中的に見てみましょう。

使徒ペテロは、いろいろの地域に分散し住んで

いるクリスチャンに向かって書いた手紙の中で それらを旅人と呼ばれていました。そして、そ の旅人の本質と性格について詳しく説明します。 旅人とは家を出て客土にとどまっている人なの で、旅人という言葉は比較的故郷という言葉を 思い出させます。故郷とは生まれ育ったところ、 先祖の時から代々暮らしてきたところです 聖書には、聖徒たちの故郷が天国であり、聖徒 たちは故郷に向かっていく旅人としました。故 郷とか本郷が持つイメージはきびしくせずなつ かしく心暖まるようなものです。帰っても休む ところがなくむかえられる人がいない故郷は故 郷がありません。クリスチャンは戻ると休む場 所があります。美しく栄光天国があります。迎 える聖徒たちと天軍天使がいます。何よりも、 天国は愛する主がおらところであり、聖徒たち が永遠に安息を味わうところです。皆さんが天 国に入ると少しも疎いせず、まるで故郷に来た ような感覚を持つようになるでしょう

今日の本文の 2 節以下では、どんな人が天国を 故郷にした特別な旅人かを具体的に説明してい ます。

ペテロの第一の手紙 1 章 2 節に「すなわち、イエス・ キリスト に 從い, かつ, その血のそそぎを 受けるために, 父なる 神の予知されたところによって 選ばれ, 御霊のきよめにあずかっている 人たちへ. 惠みと平安とが, あなたがたに 豊かに 加わるように」としました。

これをゆるめ説明するとこうします。天国を故郷にした人と聖三位 一体である神の恵みを受けた人です。父なる神から事前にご存知で選択してくださった恵みを受けました。信仰を与えて従順に聖霊様の恵みを受けました。イエス・キリストの流された血による罪の赦しの恵みを受けました。このような人は、神が備えられた天国を慕いながら生きていきます

3 節と 4 節では、「ほむべきかな, わたした ちの 主 イエス ・キリスト の 父なる 神. 神は, その 豊かなあわれみにより, イエス ・キリスト を 死人の 中からよみがえらせ, それにより, わたしたちを 新たに 生れさせ て 生ける 望みをいたかせ, あなたがたのた めに 天にたくわえてある, 朽ちず 汚れず, しぼむことのない 資産を 受け 繼ぐ 者とし て 下さったのである」としました。神イエ ス・キリストによって、聖徒たちに与えられた 恵みを、3 つでまとめました。 第一 、新たに 生まれ変わりました。第二に、生きている望み があるようにしました。第三に、天に秘め遺業 を得ました。この遺業は腐らず汚れていない衰 えないことです。このような恵みは、イエス・ キリストを与えられた父なる神様の豊かなあわ れみとイエス・キリストの死と復活によったも のです

特別な旅人

5 節では、「あなたがたは、終りの 時に 啓示 さるべき 救にあずかるために、 信仰により 神の 御力に 守られているのである」しまし た

6 節と 7 節には「そのことを 思って、今しばらくのあいだは、 さまざまな 試錬で 惱まねばならないかも 知れないが、あなたがたは大いに 喜んでいる. こうして、 あなたがたの 信仰はためされて、火で 精錬されても 朽ちる 外はない 金よりもはるかに 尊いことが明らかにされ、イエス・ キリスト の 現れるとき、さんびと 榮光とほまれとに 變るであろう」としました。

聖徒たちがこの世界で旅人で住む間に経験され ている試験は、さまざまがあります誘惑、苦難、 迫害、障害と困難、犠牲があります。試験を受 けるときは、心配になりますが間もなくです。 それにより、錬鍛された後は、むしろ大きな喜 びを持つことになります。信じる者に今後の試 験では、製錬する役割をします。私たちはどん なのテストをさせられても、それは通過する時 限付きの試験です。それにより、天の主の前に 立つ日賞賛と誉れと栄光を得ることができるこ とを考えると、喜びに克服することができます。 8節と9節では「あなたがたは、 イエス・ キ リスト を 見たことはないが, 彼を 愛して いる. 現在, 見てはいけないけれども, 信 じて, 言葉につくせない, 輝きにみちた 喜 びにあふれている. それは, 信仰の 結果な るたましいの 救を 得ているからである」 し ました。ここで本当の信者の特徴を三つに記載 しました

第一に、イエスを見ていないのにも信 じていました。

復活されたイエスの弟子たちが集まった家の中 に現れました。弟子たちの中にトマスは、その 場にいませんでした。弟子たちが復活されたイ エス様が現れたということをトマスに言ったら トマスが言った、「私はその手の釘の跡を見て、 私の指をその釘の跡に入れて手をそのわき腹に 入れてみなくては信じない」としました。八日 を過ぎて、弟子たちが戻って家の中にいる時に トマスも一緒にいました、ドアが閉じられてい るイエスが来られトマスに言う時「あなたの指 をここにつけ、私の手を見て、あなたの手を伸 ばして、私のわき腹に入れて見なさい、信仰の ない者にならないで、信じる者になりなさい」 としました。トマスが「私の主私の神です」と 言うと、イエスは、「あなたは私を見たら信じ るのか見ないで信じる者は幸いである。」とし

聖徒の皆さんは、処女の体に聖霊によって生まれて人の体を着てこの世に来られたイエスを見ませんでした。十字架につけられ血を流して死んでいることを見ていませんでした。墓に葬られと、復活した姿を見ていませんでした。天に昇られるのを見ませんでした。

それでも あなたは、イエスが行なわれたことを信じています。これらの信仰を持つようになったのは、聖書に記録された言葉を聞くとき、 聖霊が実現してくださったからです。イエスを 見ないのにも信じ皆さんは本当に幸いです

第二に、イエスを見なかったが愛しているとしました。

イエスに向け、私たちの愛は、自己中心を愛するのが人生の目的になって最高の価値がのでもないません。イエスを愛らでではなりません。イエスを愛喜んででいるのならでない。ペテロは晩年に口のなければなりません。ペテロは晩年に口の追に行って福音を伝えた。主後 64 年頃ネのの要によって平字架で釘つけられた。ペテロ自分のとしませた。

第三に、話すことができない栄光で喜びで喜びとしました。

イエス・キリストを信じる究極的な理由は、魂の救いです。魂の救いとは天国に住んではることになる意味します。この世界で信仰生活しながもを意味します。これではいていているのです。ないって大きになることもそうではいいまりも、他のことを優先させる信仰は正しい信仰ではありません

イエスご自身が言われた**、「それで, わたし** のこれらの 言葉を 聞いて 行うものを, 岩 の 上に 自分の 家を 建てた 賢い 人に 比べ ることができよう. 雨が 降り, 洪水が 押 し 寄せ, 風が 吹いてその 家に 打ちつけて も, 倒れることはない. 岩を 土台としてい るからである」(マタイによる福音書 7: 24,25) しました。岩は、イエス・キリストで あり、聖書の御言葉です。徹頭徹尾聖書に基づ く信仰でなければなりません。イエス・キリス ト以外は救いがないのを心から信じる者になら なければなりません。このような信仰を持つ者 だけが魂の救いを受けます。信者の霊魂の中か ら湧き出る喜びは魂の救いを受けたことがどの ように大きな祝福かをわかっている深さに比例 して表示されます。魂の救いを受けたので起因 する楽しさよりも大きな楽しみはありません

聖徒の皆さんは、次のような信仰で生きて行かれるのを願います。私はイエスを見なかったが、聖書に記録されているイエスを信じます。 私はイエスを見なかったが、あがないしてくださった主を変わらず愛しています。私は信仰の最後、まっすぐに魂の救いを受けるのを考えて話すことができない栄光の喜びで喜びます。